

改修用避難ハッチ  
**セクールⅡ**  
SECOURS II

・ **施工要領書** ・

※施工前に必ずお読みください。  
※安全のため作業は必ず2人で行ってください。

**松本工業株式会社**

## 1 工事開始のあいさつ

工事の作業者が直接入ることになる取付階・取付下階の2室に、これから工事が始まることを連絡します。

## 2 工事作業エリアの確保

- 準備するもの  
ほうき(大)・ちりとり  
ゴミ袋小2セット  
保護シート(下階用)

取付階では、既設ハッチの周辺0.5mに置いてあるものの一時撤去を行います。取付下階は、落下物が想定されますのでハッチの真下周辺0.5m内該当物の一時撤去、保護シート設置を行ってください。

## 3 荷物の搬入

- 準備するもの  
掃除道具・取り外し工具  
脚立(下階用)

取付階では、既設ハッチの取り外し工具、掃除道具を搬入します。取付下階では脚立を搬入します。

## 4 既設ハッチ梯子取り外し

- 準備するもの  
工具/プライヤー  
ニッパー  
針金/鉄(φ2mm位)

まず、既設ハッチの上蓋をゆっくり開けます。下蓋も同時に開く場合は、下蓋が開かないように取付下階から補助をしてもらいます。その時点で落下しそうなゴミなどを除去します。

(可能であれば針金、ペンチで下蓋を応急的に開かなくする加工をしたほうが作業性が上がります。出来なければ、今後の作業は下から下蓋を保持したまま行うことになります。)



上蓋が開いたら、梯子がネジ止めで外せるかを確認し、外せれば適した工具を使用して取り外します。ネジ止めで外せなければタガネ、ガスなどを用いて外します。

## 5 既設ハッチ上蓋の取り外し

- 準備するもの  
工具/六角レンチ(5~8mm)  
スパナ(10~17mm) 2セット  
タガネ(大・小)

上蓋も梯子と同じ要領で取り外します。



## 6 既設ハッチ内側の突起物取り外し

- 準備するもの  
工具/ハンマー(大)  
ガス

この時点で、梯子本体の吊元ボルトや、上下の蓋の連動金具、下蓋のストッパーなど既設ハッチ内側の突起物を取り外します。要領は梯子の取り外しと同じです。



## 7 既設ハッチ内の清掃

- 準備するもの  
スクレーパ  
ワイヤーブラシ  
ほうき(小)・ちりとり(小)  
ゴミ袋(小)

ハッチ内側の表面がさびてめくれ上がっている場合など、すぐに取り除いてしまうものを除去します。また、これまでの作業で発生したさびた鉄クズや、ボルトの破片などを清掃します。

## 8 既設ハッチ下蓋取り外し

工事下階の作業者に下蓋が落ちないように補助をもらい、下蓋を梯子取り外しの要領で取り外します。このときに関連する突起物も除去します。

## 9 ハッチ周辺の清掃

外すものが全て外せたら、取付場所の清掃を行います。

## 10 既設ハッチの錆止め塗装実施

- 準備するもの  
さび止め塗料スプレー

既設ハッチの露出した面に錆止め塗装を行います。



## 11 不要品の搬出 新設ハッチ搬入

- 準備するもの  
掃除用品  
ゴミ袋(特大700×700mm以上)

これまでの工程で取り外した既設ハッチの不要部品搬出後、新設ハッチを搬入します。搬出時には設置先の居室を通ることになりますので、ゴミが散らばらないよう、袋に入れて運んでください。

## 12 新設ハッチ搬入・開梱

- 準備するもの  
カッターナイフ

新設ハッチを搬入し、開梱します。上下のハッチが仮に接続されていますのでこれを取り外します。このとき外したナットはなくさないようにしてください。

## 13 新設ハッチ 上枠・下枠のセット

新設ハッチの上枠を仮置きし下階より下枠を上枠にセットします。吊元の方向を間違えないよう確認してください。

セット時に、はしご振れ止め調整ボルトが既設ハッチに干渉しないよう、ボルトを緩めた状態で施工してください。

※はしご吊り元方向は、地域によって異なります。所轄の消防局の指導に従って取り付けてください。

## 14 新設ハッチ固定

- 準備するもの  
工具/スパナ(17mm)2本

(1) 方向の間違いが無いよう確認し、取付方向に間違いがなければ本締めを行います。その後、ボルト先端にキャップを取り付けてください。

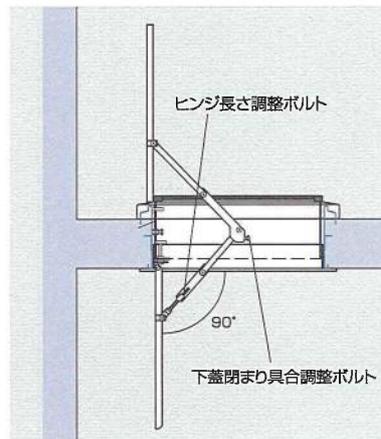


## 15 上下蓋連動ヒンジ取付

(2) 振れ止めボルトを締めこみます。  
ハッチについている振れ止めボルトを増し締めします。ボルト先端が着座するまで締めこんでください。



(1) 下蓋ヒンジ長さの調整  
下蓋が解放した状態で垂直になるようヒンジ長さ調整ボルトを調整し、ナットでロックします。



(2) 上下蓋連動タイミングの調整  
下蓋閉まり具合調整ボルトにて上下連動タイミングを調整します。上蓋を閉めていくと同時に下蓋が閉まりますので、下蓋が上蓋より先行して閉まるよう調整します。(下蓋が完全に閉じたとき、上蓋が5cm程度開く状態が適切です。  
※下蓋が上蓋より閉まるタイミングが早すぎるとヒンジが破損する恐れがありますので、必ず下蓋開き加減で調整してください。  
(3) 関係するネジを増し締めします。

## 16 新設梯子取り付け

- 準備するもの  
スクレーパ  
ワイヤーブラシ  
ほうき(小)・ちりとり(小)  
ゴミ袋(小)

新設梯子の取り付けを行います。  
輸送途中梯子解除レバーが作動しないようゴムで固定されています。梯子取付けが終わり、落下テストするまでゴムを外さないでください。  
取付ネジの締め付けは以下の手順で行ってください。



(1) 梯子を吊元ボルトで取り付け、仮締めします。締め付けはスプリングワッシャがつぶれきらない程度で行ってください。

## 17 ハッチ本体の清掃

## 18 工事作業エリアの清掃

- 準備するもの  
カッターナイフ  
掃除用品  
中性洗剤  
タオルウエス

## 19 コーキング

- 準備するもの  
コーキング用品/コーキングガン  
変性シリコンコーキング2本  
へら(大・小)  
油

## 20 保護フィルム除去

## 20 荷物の搬出

- 準備するもの  
掃除用品  
ゴミ袋(特大700×700mm以上)

## 21 使用方法の説明

## 22 工事完了のあいさつ

(2) 梯子を展開し吊元ナットを本締めします。ハッチ取付面の傾きなどにより、梯子が斜めに下りる可能性があります。そのため、まず梯子を展開し、梯子が垂直に落ちる位置で本締めします。



(3) 梯子を巻上げます。

巻上げが終わったら、ハンドルをハッチのホルダーにセットしてください。※この時点でハッチが正常に作動するかどうか確認してください。

ハッチ本体を中性洗剤で清掃します。

コーキング前にハッチ周辺の清掃を行います。

取付階では周囲の清掃、一時撤去したものの復帰を行います。

取付下階では周囲の清掃、保護シートの撤去、一時撤去したものの復帰を行います。

新設ハッチの上枠周囲にコーキングを行います。



上蓋表面の保護シートをはがします。



工事に使用した工具、脚立、ハッチ梱包材などを搬出します。搬出時には設置先の居室を通ることになりますので、ゴミが散らばらないよう、袋に入れて運んでください。

住人へハッチの使用方法について説明します。

内容は以下のとおりで、シールに表示があります。

- (1) 蓋の開け方(チャイルドロックの外し方を含む)
- (2) 梯子の展開の仕方(レバーを確実に押すように説明してください)
- (3) 梯子の巻き上げ方
- (4) 蓋の閉め方

工事の作業者が直接入った取付階・取付下階の2室に工事が完了したことを連絡します。